

変革の時代の経営を考える

第8回目となる『実学サロン』の案内を致します。講師は毎回、校友です。社会で活躍する校友や在校生にとって、ビジネス経験や研究活動の経験を聞くことは、大変に楽しく有意義なことであります。魅力的な研究開発活動、エンジニアリングや効率的なマネジメントは、その道で体得された方に聞くのが一番です。すでに7回の実学サロンを実施し、「深い経験と知見に基づく講演で良かった」「生の声は違う。現実ベースの話で興味深く、参考になる」との評価を得ています。

今回の講師は、横河ブリッジに勤務し、主として溶接の研究に従事し、溶接に関する研究では第一人者です。業界の日本橋梁建設協会現場溶接部会長、鉄骨建設業協会技術部会長などを歴任し、芝浦工業大学の非常勤講師を長年務めました。

講演会終了後に校友倶楽部で懇親会も予定されています。皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。お待ちしております。

芝浦工業大学校友会 会長 鈴見 健夫
副会長・総務広報委員長 泉澤 定雄

□ テーマ 鋼構造物の溶接

夏目 光尋(なつめ みつひろ)

元横河橋梁、昭和34年機械工学科

●日時:2013年11月22日(金) 18:30~20:00 (講演60分、質疑30分)

●場所:芝浦工業大学芝浦キャンパス内

〒108-0023 東京都港区芝浦3-9-14

【アクセス】 JR山手線・京浜東北線田町駅芝浦口から徒歩3分

都営地下鉄三田線三田駅から徒歩5分

(http://www.shibaura-it.ac.jp/about/campus_shibaura.html)

●参加費:無料 (但し、懇親会参加者:2,000円、講座終了後、懇親会を開きます)

●定員:50名

●申込方法:FAX(03-5445-9635)

またはEメール(sitfriends@shibaura-koyu.jp)にて、氏名、所属、住所、電話番号、Eメール、卒業学科・年次および懇親会参加・不参加を明記して、お申し込み下さい。

●主催:芝浦工業大学校友会

●日時:2013年11月22日(金)18:30~20:00

●場所:芝浦工業大学 芝浦キャンパス内教室(東京都港区芝浦)

●講演概要

構造物、橋梁・建築、に鉄(鋼材)が使われた沿革、そしてそれらの接合の歴史を振り返り、溶接の適用と失敗、そして今日の大型構造物に貢献してきた溶接技術の進歩について報告する。

[芝浦工業大学 芝浦キャンパスの地図]



【講師略歴】

夏目 光尋 (なつめ みつひろ) 氏

1959年機械工学科卒、同年横河ブリッジ勤務、主として溶接研究に従事してきた。

工学博士。

芝浦工業大学非常勤講師。

横河工事(株)に転属し、同社理事。

日本橋梁建設協会現場溶接部会長、

鉄骨建設業協会技術部会長、

日本溶接協会、軽金属溶接協会、建築学会、

ISO 溶接検定規格の国際会議委員。

日本溶接協会技術アドバイザー。(現在)

<アクセス>

JR山手線・京浜東北線「田町駅」芝浦口から徒歩3分
都営地下鉄・三田線・浅草線「三田駅」から徒歩5分

<申し込み> 下記項目に記入の上、FAXまたはeメール(sitfriends@shibaura-koyu.jp)でお申し込み下さい。

●氏名: _____ ●所属: _____

●住所: _____

●卒業学科: _____ ●卒業年次: _____

●電話番号:(____) _____ - _____ ●eメール: _____

●懇親会:[参加、不参加](該当するところに○を付けてください) 講座終了後、1時間程度の懇親会を開きます。

芝浦工業大学校友会事務局 〒108-0023 東京都港区芝浦3-9-14

TEL:03-5445-9634 FAX:03-5445-9635

お申込

FAX:(03) 5445-9635